

# 健康危機管理 国際会議

## Health Risk Management for Environment and Labour

(会期) 2006年6月29-30日

(会場) 国連大学エリザベス国際会議場

国連大学本部5階、東京都渋谷区神宮前5-53-70

日英同時通訳つき

**主題：労働・環境・生態系と感染症の危機管理**

**(標語) 産業と環境のリスク対策**



**環境と労働の健康危機管理国際会議 国際組織委員会**



### 主催

国際予防医学リスクマネジメント連盟

### 共催

世界健康リスクマネジメントセンター(東京)、日本予防医学リスクマネジメント学会  
日本産業衛生学会、マレーシア予防医学リスクマネジメント学会  
URM 午後アジア太平洋センター (マレーシア)、URM 午後欧州センター (スウェーデン)  
URM 午後アメリカ大陸センター (コスタリカ)、URM 午後アフリカセンター (南アフリカ)  
その他

### 特別後援

ILO 駐日事務所

### 後援

国連大学、日本学術会議(申請中)、日本環境省、日本厚生労働省、日本医師会、  
経済開発協力機構 (OECD)東京センター、タイ厚生省、マレーシア厚生省  
マレーシア職業・環境医学会、国立環境研究所(日本)、国立環境健康研究所(米国)  
東京大学、京都大学、九州大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、マレーシア理科大学  
厚生労働省公益法人 国際協力医学振興財団、その他

### その他の海外協力機関

在日エジプト大使館、在日カンボジア大使館、在日ガテマラ大使館、その他

#### 【問い合わせ・連絡先・申込 等】

国際予防医学リスクマネジメント連盟事務本部

日本予防医学リスクマネジメント学会事務本部

担当 木村、増田

(TEL / FAX) 03-3817-6770

(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-36-2-103

(電子メール) jsrmpm-office@umin.net

協力事務局: 機関誌「安全医学」編集事務局

東京大学環境安全センター 刈間研究室

## フォーラム委員会

### 名誉会長

堀内 光子 前 ILO 駐日事務所代表、国際予防医学リスクマネジメント連盟顧問

### 会長

清水 英裕 日本予防医学リスクマネジメント学会名誉会員  
慈恵会医科大学医学部環境保健学教授、日本産業衛生学会理事長

酒井 亮二 国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長

Christopher J. Portier 国際予防医学リスクマネジメント連盟顧問  
米国国立環境健康研究所国家毒性プログラム委員委員長

### 副会長

Rusli B. Nordin アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会理事長  
マレーシア理科大学歯学部副学部長、同産業医学教授

遠山 千春 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター  
健康・環境医工学部門教授

### 国際組織委員長

渡辺 知保 東京大学大学院医学系研究科・医学部人類生態学教授

### 国際広報委員長

杉田 稔 東邦大学医学部衛生学教授

### 国際運営委員会 (五十音順)

Christopher J. Portier 米国国立環境健康研究所国家毒性プログラム委員長  
Anthony Powers 国際連合大学  
Rusli Nordin マレーシア理科大学歯学部副学部長、産業医学教授  
植田 和夫 京都大学経済学部環境経済学教授  
園藤 吟史 大阪市立大学医学部産業医学教授  
刈間 理介 東京大学環境安全センター助教授  
酒井 亮二 国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長  
清水 英裕 慈恵会医科大学医学部環境保健学教授  
杉田 稔 東邦大学医学部衛生学教授  
竹下 達也 和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学教授  
遠山 千春 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター健康・環境医工学部門教授  
林 茂樹 独立行政法人国立病院機構災害医療センター副院長  
牧野 公彦 SMC 社 CEO  
目黒 公郎 東京大学生産技術研究所減災工学教授  
楽得 康之 国際医療福祉大学三田病院予防医学センター教授  
渡辺 知保 東京大学大学院医学系研究科・医学部人類生態学教授  
その他

## 交通案内

国連大学 ウタント国際会議場

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70



## 会場案内



会場は4つのスペースから構成されます。

- Space A:** 3階 主会場、小会議室、マルチメディア室
- Space B:** 2階 登録受付、クローク
- Space C:** 4階 ギャラリー
- Space D:** 3階 談話室、休憩室

以下のように当日は運用されます。

- (参加登録受付) Space B
- (会議会場) Space A
- (パワーポイント資料の受付・調整) Space A
- (プロシーディングス受付) Space A
- (クローク) Space B
- (来賓室) Space A
- (委員会室) Space A
- (講演者用の食事、休憩室) Space A
- (スタッフ室) Space A

**構内には食堂はありません。館内は飲食禁止・禁煙です。**  
国連大学界隈には有名レストランなどが多数あります。

## 発表・進行に関するご案内

### 発表機材について

演者ご自身のノート型パソコン持参(\*参照1)または、メディア(\*参照2)(CD-RまたはUSBメモリ)をご持参ください。メディア持込はWindowsに限ります。

演者の方は演者受付を済ませた後、会場内のPCデスクにて試写・出力確認を行ってください。

演台にはオペレーター席のパソコンとUSBの延長ケーブルで接続されたキーボード・マウス、及びTFTモニターがセットされておりますので、各自の操作で進めて下さい。

液晶プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)です。

動画・音声の使用は可能ですが、ご利用の際はご自身のPCをご持参下さい。また、全てのデータを同一フォルダに入れて下さい。

**重要！** 動画ファイルは、Media Player で再生出来るように作成してください。

**重要！** プレゼンテーションに他のデータ(動画等)をリンクさせている場合は、必ず元のデータも保存していただき、事前に動作確認をお願い致します。

### (\*参照1)PC持参(Windows / Macintosh)

発表1時間前までに演者受付を済ませ、会場内PCデスクにて試写を行って下さい。

・ご使用になるアプリケーションは、PowerPoint2000以降としてください。

Macintoshをご利用の方は本体ごと持参ください。

Windowsをご利用の方でも、Power Pointに動画が含まれている場合や特殊ソフトをご使用の方は、ご自身のPCをご持参頂くことを推奨いたします。

・事務局ではD-sub15ピン(ミニ)のケーブルを用意いたします。

・一部のノートパソコンでは本体付属のコネクターが必要な場合がありますので、必ず持参して下さい。

・ノートパソコンから外部モニターに正しく出力できることを確認して下さい。個々のパソコンやOSにより設定方法が異なりますので、事前にご確認下さい。

・発表データは、必ずデスクトップ画面に保存して下さい。

・スクリーンセーバー・省電力設定・パスワード等は事前に解除しておいて下さい。

・ACアダプター、電源コードを必ずお持ち下さい。

・不測の事態に備えて、必ずバックアップデータ(CD-RまたはUSBメモリ)をお持ち下さい。

### (\*参照2)メディア(Windowsのみ)

発表1時間前までに演者受付を済ませ、会場内PCデスクにて試写を行って下さい。

・ご使用になるアプリケーションは、PowerPoint2000以降としてください。

・フォントは、OS標準のもののみ用いて下さい。

・画面の解像度は、XGA(1024×768)でお願い致します。

・保存するメディア媒体は、CD-R 又は、USBメモリをご使用下さい。

・CD-Rの書きこみは、ISO9660方式をお使い下さい。

・CD-RまたはUSBに保存したデータが、ご自身以外のパソコンでも問題なくスライドショーが実行されるか事前のご確認を必ず行ってください。

・ファイル名は、必ず「演題番号・演者名」として下さい。

演者受付・PCデスクでファイル名の書き換え作業を致しますと、受付が非常に煩雑になりますのでご協力をお願い致します。

・演者受付ではデータの修正は出来ませんので、予めご了承下さい。

# プログラム

## 第1日目 (2006年6月29日)

### 「労働・産業での健康の国際危機管理」

第1日目開催責任者 清水 英佑 日本予防医学リスクマネジメント学会名誉会員  
慈恵会医科大学医学部環境保健学教授  
日本産業衛生学会理事長

\*印は、日本医師会の産業医生涯研修会の講義対象です。すべての講演を受講された産業医の方は、専門研修3単位分を取得できます。3単位未満の取得は日本医師会より許可されていないので、ご注意ください。単位希望者は、当日受付にてお申し出ください。

#### 開会

2006年6月29日午前 9:30 - 午前 9:35  
清水 英佑 同上

#### 来賓挨拶

2006年6月29日午前 9:35- 午前 9:45  
Hans Ginkel 国連大学学長、国際予防医学リスクマネジメント連盟名誉会員

2006年6月29日午前 9:45- 午前 10:00  
堀内 光子 前ILO駐日代表、国際予防医学リスクマネジメント連盟顧問

## 基調講演 (1)

司会 山本 和夫 東京大学環境安全研究センター教授、同センター長、日本廃棄物学会会長  
Rusli B. Nordin マレーシア理科大学歯学部副学部長、医学部職業医学教授  
アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会理事長  
マレーシア予防医学リスクマネジメント学会理事長

2006年6月29日午前 10:00 - 午前 10:30

### \*日本における職業保健の現状

清水 英佑 日本予防医学リスクマネジメント学会名誉会員  
慈恵会医科大学医学部環境保健学教授、日本産業衛生学会理事長

(概要) 職業保健は明治期の近代化以降の様々な産業化の変遷とともに勤労者の健康と安全を守るための医学として全国的に展開されてきた。講演では日本での職業保健活動の歴史を回顧し、今後のあり方を検討する。

2006年6月29日午前 10:30 - 午前 11:10

### \*化学物質のリスク管理 (仮題)

佐藤 洋 東北大学大学院医学研究科環境保健学教授

2006年6月29日午前 11:10 - 午前 11:35

### \*働く人々の健康保持に向けた国際労働機関 (ILO) の取り組み

長谷川 真一 ILO 駐日代表

(概要) 労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン、労働安全衛生世界戦略、労働安全衛生の促進的枠組みに関する基準など、安全に働ける世界の構築に向け、ILO が展開している最新の動きを解説する。

## 特別講演 (1) 2006年6月29日午前 11:35 - 午後 12:00

座長 佐藤 元 東京大学大学院医学研究科公衆衛生学

### \*労働ストレスとリスク管理

Rusli B. Nordin マレーシア理科大学歯学部副学部長、医学部職業医学教授  
アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会理事長  
マレーシア予防医学リスクマネジメント学会理事長

(概要) 今日の世界の勤労者の最重要な健康問題の1つである、勤労者のストレス予防のために、今後の国際リスク対策のあり方を討議したい。

2006年6月29日午後 12:00 - 午後 1:00

## 昼食

## 特別講演 (2) 2006年6月29日午後 1:00 - 午後 1:30

座長 酒井 亮二 国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長  
日本予防医学リスクマネジメント学会理事長

### 地震災害の危機管理工学 (仮題)

目黒 公郎 東京大学生産技術研究所減災工学教授  
日本予防医学リスクマネジメント学会常任理事

(概要) 目黒先生は神戸震災、中越地震、インド洋津波、カトリーナ台風など様々な自然災害の現場で調査研究し、地震での被害低減に必要となる工学技術を開発している。災害の現場から開発した様々な工学技術を紹介し、あわせて災害に対する地域と企業の危機管理対策の提案をする。

**特別プログラム 「アスベストのリスク管理」** 2006年6月29日午後 1:30 - 午後 4:00

コーディネーター:

清水 英佑 日本予防医学リスクマネジメント学会名誉会員  
慈恵会医科大学医学部環境保健学教授、日本産業衛生学会理事長

(概要) アスベストによる健康被害は近年の日本で産業衛生上の最大の課題の1つである。今回、「アスベストのリスク管理」というテーマの下で、行政対策のあり方、健康影響調査方法の実例、アスベストの環境と人体での測定方法、アスベスト低減のための工学技術を日本からの報告として広く国内外に紹介する。

アスベストは全世界の建造物で使用されており、近い将来にはアジアなどの開発途上国でも深刻な健康問題を引き起こす化学物質である。これらの国々に今からこの問題を喚起することにより、アスベストの国際リスク管理システムを推進する。

座長 高橋 謙 産業医科大学衛生学教授、日本産業衛生学会理事

2006年6月29日午後 1:30 - 午後 2:00

**\*特別講演 日本でのアスベスト健康被害から学ぶべきこと**

高橋 謙 産業医科大学衛生学教授、日本産業衛生学会理事

(概要) 高橋先生は日本でのアスベスト人体影響研究者の第1人者で、アスベストの健康影響調査の実例を紹介し、化学実質の人体影響に関する医学的な調査方法を解説される。

2006年6月29日午後 2:00 - 午後 2:30

**\*特別講演 アスベスト配管製造の古い工場周辺の住民での中皮腫の有意な集積**

車谷 典男 奈良県立医科大学衛生学教授、日本産業衛生学会理事

(概要) 車谷先生は、最近の日本のアスベストによる健康被害調査を最初に報告しました。今回の講演では、アスベストの人体と環境での測定方法や環境管理の方法を紹介し、化学物質の健康リスク管理の医学的考え方を解説する。

2006年6月29日午後 2:30 - 午後 3:00, June 29, 2006

**特別講演 アスベスト繊維による室内汚染の工学対策について (仮題)**

池田 耕一 国立保健医療科学院建築衛生部部長

(概要) 池田先生はアスベストを含む化学物質の環境工学技術分野で日本の第一人者で、アスベスト低減のための様々な工学技術の動向を紹介し、今後の技術開発のあり方を説明する。

2006年6月29日午後 3:00 - 午後 3:30

**\*特別講演 アスベストの環境行政の動向 (仮題)**

森永 謙二 独立行政法人労働安全衛生総合研究所部長

環境省石綿による健康被害に係る医学的判断に関する検討会委員長

環境省中央環境審議会健康被害救済小委員会委員長

厚生労働省石綿による健康被害に係る医学的判断に関する検討会座長

(概要) アスベストに関する日本政府の最新の対応を紹介し、産業界での化学物質の安全な使用に関する公的な対応のあり方を説明する。これらは、企業での化学物質のリスク・ガバナンスの構築に資する内容である。

2006年6月29日午後 3:30 - 午後 4:00 総合討論会

## 特別講演(3)及び一般演題

座長：刈間理介 東京大学環境安全センター助教授、日本予防医学リスクマネジメント学会理事  
Omar Mihat マレーシア厚生省疫学部

特別講演 pm 4:00 - pm 4:25 , June 29, 2006

### 日本の職場での生活習慣病、過重労働およびメンタルヘルスのリスク管理

鈴木 庄亮 独立行政法人労働者健康福祉機構> 群馬産業保健推進センター理事長  
群馬大学名誉教授 (医学部公衆衛生学)

(概要) 関東の某大自動車工場の最新データを事例として 日本全体の背景を提示する。

一般演題 pm 4:25 - pm 4:40 , June 29, 2006

### 作業場での有機溶剤

Lin Naing、Rusli Nordin マレーシア理科大学医学部産業医学教室

2006年6月29日午後 4:40 - 午後 4:50 **第1日目の総括・閉会**

Rusli B. Nordin マレーシア理科大学歯学部副学部長、医学部職業医学教授  
アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会理事長、  
マレーシア予防医学リスクマネジメント学会理事長

2006年6月29日 夕 **懇親会**

# 第2日目 (2006年6月30日)

## 「地域環境での健康の国際危機管理」

### 第2日目開催責任者

酒井 亮二

国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長  
日本予防医学リスクマネジメント学会理事長

開会 2006年6月30日午前 9:30 - 午前 9:35

酒井 亮二 同上

### 基調講演 (2)

司会: 遠山 千春 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター 健康・環境医工学部門一教授  
日本予防医学リスクマネジメント学会理事

2006年6月30日午前 9:35 - 午前 10:05

#### リスクを知ること すべての解決の第1歩

Hans Ginkel

国連大学学長

国際予防医学リスクマネジメント連盟名誉会員

(概要) 国連大学の主目的は世界の環境・貧困の解決をするための教育の促進であり、国連大学のこれらの活動について紹介する。

### 特別講演 (4)

座長 古野 純典

九州大学医学研究院予防医学講座教授

Abu Hasan Samad

マレーシア職業保健学会会長

2006年6月30日午前 10:05 - 午前 10:35

#### 環境リスク管理の経済的諸問題

植田 和弘

京都大学大学院経済学研究科、地球環境学堂教授

国際予防医学リスクマネジメント連盟顧問

(概要) 環境問題は経済活動との関係が不可分であり、環境経済学の日本の第一人者として、地球温暖化政策などの地球環境問題を含む各種の経済政策の最新情報を解説する。

2006年6月30日午前 10:35 - 午前 11:00

#### 国連と合衆国の保安・防衛・災害危機管理

Anthony Powers

国連大学災害危機管理部

(概要) Powers氏は米国の軍事戦略部門での勤務を経て、国連大学で世界の災害危機管理を長年にわたり担当してきた。これらの経験から、テロなどを含む災害の危機管理の方法を国連大学と米国の事例を紹介する。

## 教育講演

司会: Rusli B. Nordin

マレーシア理科大学歯学部副学部長、医学部職業医学教授  
アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会理事長  
マレーシア予防医学リスクマネジメント学会理事長

2006年6月30日午前 11:00 - 午前 11:35

### 予防医学と健康科学でのリスクマネジメント学の現状と課題

酒井 亮二

国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長  
日本予防医学リスクマネジメント学会理事長

(概要) 医療でのリスクマネジメント研究は本学会が日本と世界で最初に提案し、その後4年の歳月を経て、世界各地で健康と安全のためのリスクマネジメント活動が燎原の炎のように広がっている。これらを総括して、予防医学を志向するリスクマネジメント科学の基本的な考え方と技術を紹介する

## セミナー 「鳥インフルエンザのリスク管理」

座長 Omar Mihat

マレーシア厚生省疫学部

Chantana Padungtod

タイ厚生省疾患予防部職業・環境疾患対策室

2006年6月30日午前 11:30 午前 11:15

### 「マレーシアにおけるインフルエンザ危機管理 政府と企業の動向」

Abu Hasan Samad

マレーシア予防医学リスクマネジメント学会顧問

マレーシア職業保健学会会長、マレーシア・エクソン社医学・職業保健顧問

(概要) 鳥インフルエンザの流行は、世界の勤労者と地域住民にとって極めて深刻な課題で、世界各国の注視が必要である。ここではマレーシアの政府と産業界の取り組みを紹介し、今後国際リスク管理の方法を討議する。

2006年6月30日午前 11:15 午後 12:00

### 「新興インフルエンザ ニュロアミラーゼ阻害剤の製造と貯蔵」

杉田 稔

東邦大学医学部衛生学教室教授、日本予防医学リスクマネジメント学会理事

(概要) 日本での鳥インフルエンザ流行シミュレーションの数値シミュレーションをお試み、薬剤備蓄のあり方を討議する。

2006年6月30日午後 12:00 午後 1:00

## 昼食

## 一般講演 (第2日目 その1)

座長 Chantana Padungtod

タイ厚生省疾患予防部職業・環境疾患対策室

杉田 稔

東邦大学医学部衛生学教室教授

2006年6月30日午後 1:00 - 午後 1:15

### 公衆衛生医学におけるリスク管理研究の統計モデル

Lin Naing, Rusli Nordin

マレーシア理科大学医学部産業医学教室

2006年6月30日午後 1:15 - 午後 1:30

Taman Paroi Jaya (Seremban)地区におけるヤブ蚊繁殖防止のための家庭用浄化槽でのポリスチレン・ベットの使用について

Omar Mihat

マレーシア厚生省疫学部、クアラルンプール市

2006年6月30日午後 1:30 - 午後 4:00

## シンポジウム 「環境リスクの中の健康リスク」

コーディネーター:

渡辺 知保 東京大学大学院医学研究科・医学部人類生態学教授  
日本予防医学リスクマネジメント学会常任理事

(概要) 環境リスクは、生態系リスクと健康リスクの双方を含む概念であり、その管理にも双方を視野に入れておく必要がある。予防医学という立場からは健康リスクが重要であるが、それは環境リスクと独立して存在しているわけではない。そのような観点から、環境リスク管理への取り組みの現状(行政・コミュニティ)、環境リスク管理の工学的アプローチにおける健康リスクの意味、生態系リスクの評価と管理などについて話題を提供してもらい、健康リスクと環境リスクとの関係について考えてみたい。これらにより、生態学的健康に従う新しいリスク管理戦略を検討する。

(対象者) 国内外の環境・健康リスク管理の実務家、行政と大学・研究者、学生、市民。

2006年6月30日午後 1:30 - 午後 1:35

座長挨拶 渡辺 知保 東京大学大学院医学研究科・医学部人類生態学教授  
日本予防医学リスクマネジメント学会常任理事

2006年6月30日午後 1:35 - 午後 2:05

### 将来の世代のための環境予防医学の確立

森 千里 千葉大学・医学系研究院・環境生命医学・教授

(概要) 胎児の化学物質汚染の現状を概観し、一般環境中の化学物質レベルを削減し、将来世代における健康への悪影響を防止するための我々の試みについて紹介する。

2006年6月30日午後 2:05 - 午後 2:35

### 生態系リスクについて：生態学からのアプローチ

田中 嘉成 独立行政法人国立環境研究所・環境リスク研究センター・  
生態リスク評価研究室室長

(概要) 化学物質の生態系への影響をどのように定量的に評価したらよいか。生態学の知見に基づく評価法の考え方と数理的な解析手法の提案を行う。

2006年6月30日午後 2:35 - 午後 3:05

### 都市の中の総合リスク管理

福士 謙介 東京大学サステナビリティ学連携研究機構助教授

(概要) 健康リスク(食物、大気、水)、社会的リスク(経済的損失)、災害 リスク等を織り交ぜ、基本的には健康リスク(科学的と心理学的)を中心に論じてゆきたい。

2006年6月30日午後 3:05 - 午後 3:35

### 化学物質の環境リスク管理に関する国際動向及び日本の政策

戸田 英作 環境省環境保健部環境安全課課長補佐

(概要) 「2020年までに化学物質が人の健康及び環境に与える影響を最小化するとの国際的な目標を目指し、我が国が実施している化学物質のリスク評価・管理に関する政策について概説する。」 戸田氏は現在、環境省の化学物質政策のとりまとめ役です。昨年前まではOECDに所属し化学物質政策を担当してきました。

2006年6月30日午後 3:35 - 午後 4:00 総合討論会

## 一般講演 (第2日目、その2)

座長: 小山 洋 群馬大学大学院医学系研究科生態情報学教授  
Omar Mihat マレーシア厚生省疫学部

2006年6月30日午後 4:00 - 午後 4:15

**カドミウム汚染による健康リスクマネジメントに関する地球環境基準策定の試み**  
西条旨子(金沢医科大学健康増進予防医学)、他

2006年6月30日午後 4:15 - 午後 4:30

**タイ国でのカドミウム汚染 - 健康危機管理からの考察**  
Chantana Padungtod (タイ厚生省疾患予防部職業・環境疾患対策室)

2006年6月30日午後 4:30 - 午後 4:45

**フェルト状炭素繊維電極フィルターとオゾン殺菌を併用した新しい水浄化法**  
小澤邦寿(群馬県衛生環境研究所)、他

2006年6月30日午後 4:45 - 午後 4:55 **第2日目の総括・閉会**

## 参加料

参加料: (2日参加、懇親会費を含まない)

学会員(医師)ないし医師	3万円
学会員(医師以外)、看護師、学生	1万5千円
学会員以外(医師以外)	2万円

参加料: (1日参加、懇親会費を含まない)

学会員(医師)ないし医師	1万5千円
学会員(医師以外)、看護師、学生	8千円
学会員以外(医師以外)	1万円

懇親会費	8千円
------	-----

## 宿泊施設の推薦

下記のホテルが会場の近くです。

- 1) **こどもの城** (国連大学の隣り)

<http://www.kodomon-shiro.or.jp/hotel/index.html>

- 2) **東急ホテルズ** (国連大学まで徒歩 10 分)

<http://www.tokyuhotels.co.jp/ja/index.html>

**申し込みは宿泊施設をお願いします。インターネット予約での割引が適用される場合があります。**

ただし、学会とは実務契約を一切結んでいませんので、契約に関する責任は学会にはありません。

